

愛媛県における鳥獣害防止対策の強化

- 1 鳥獣害防止対策の推進体制を総合的に強化し、地域活動を支援する「組織化」に取り組みます。
- 2 市町や関係団体の施策を整理し、情報の共有や評価、助言を行なう「カルテ化」に取り組みます。
- 3 地域の特性や鳥獣の種類など、現場の環境に適した対策の「モデル化」に取り組みます。

体制の強化

【 H22 2,660千円 H23 4,397千円 】

組織化による 推進力の強化

鳥獣害対策係を設置して防止対策の窓口を一本化
本庁対策班を設置して部局横断的な対策を促進
地区及び市町協議会を活性化して地域支援活動を充実

カルテ化による 分析力の強化

市町や関係団体の各種対策の現状を把握してカルテ化
現状を分析して、評価、助言

モデル化による 実践力の強化

研究所等の県施設内に先端技術の実証展示場を設置
愛媛大学との連携により地域特性ごとの対策を解明



各種事業の強化

【 H22 89,133千円 H23 147,517千円 】

被害防除事業の強化 (侵入防止柵、処理加工施設等)

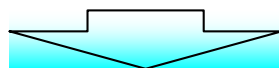
侵入防止柵の自力施工に対する定額補助を新設
発信器の活用等、先進的取り組みへの助成を拡充
【69,100千円 69,985千円】

鳥獣捕獲事業の強化

イノシシ、ニホンジカ捕獲への助成を拡充
狩猟期のニホンジカ捕獲への助成を新設
【7,777千円 28,517千円】

人材育成事業の強化

地域で被害防止を担う人材の育成支援を拡充
【12,136千円 49,015千円】



地域における被害軽減や、農業者の生産意欲の向上による笑顔（えがお）あふれる農山村の実現